

【小施策評価(平成29年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

| | | | | | |
|------|------|----------------|------------------|-------|---------|
| 基本目標 | 4 | 人が集い活力を生むまちづくり | 小施策 主管課等 | 経済企画課 | |
| 施策 | 22 | 商業・サービス業の振興 | 評価 責任者 | 小原 勝博 | 内線 3710 |
| 小施策 | 22-2 | ロジスティクス機能の充実 | 評価 シート 作成者 | 高橋 久幸 | 内線 3711 |

小施策の概要

| | | |
|--|---|---|
| 現状と課題(総合計画実施計画から転記) | ⇒ | 取組の方向性(総合計画実施計画から転記) |
| 生鮮食品などの出荷団体や小売店などのニーズに対応した市場の役割が求められており、品揃えの充実と集荷力の向上を図るとともに、公正かつ迅速な取引を確保し、消費生活の安定を図っていく必要がある。 | | 生鮮食料品等を安定的に供給するため、出荷団体や小売店などの連携を強化しながら、品揃えの充実と集荷力の向上を図り、活発な市場取引を推進する。 |
| 対象(誰(何)を対象として行うのか) | ⇒ | 意図(対象をどのようにしたいのか) |
| 流通業者 | | 効率的なモノの流れが促進される。 |

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成29年度実績)

| 実績値の推移 | | | | 実績の評価 | |
|-----------------|-----|-------|--|-------|---|
| 指標 | 単位 | 目指す方向 | 成果点 | ⇒ | 成果の要因分析 |
| 指標① 中央卸売市場年間取扱高 | 百万円 | ↗ | 当初値 (H25) 34,844 H31目標値 35,000 H36目標値 35,000 34,844 34,887 34,823 32,833 | ⇒ | ・市場内共用部分と開設者使用箇所照明の電気使用料が削減された。 ・市内小学校の市場見学者が増加した。 ・共用部分と開設者使用箇所の照明を蛍光灯等からLEDランプに変更したため。 ・市内校長園長会議を市場で開催し、施設見学や市場行事の説明、市場施設の視察を実施したため。 |
| | | | 問題点 | ⇒ | 問題の要因分析 |
| | | | ・青果部、水産物部とも取扱量・取扱高の減少傾向 | ⇒ | ・少子高齢化・人口減少による食糧消費量の減少 ・消費者ニーズの多様化 ・国産農林水産物生産量の減少 ・卸売市場経由率の低下 |
| 指標② 卸売・運輸・通信業者数 | 事業所 | ↗ | 当初値 (H24) 1,619 H31目標値 1,700 H36目標値 1,780 1,619 1,720 1,690 | ⇒ | ・卸売・運輸・通信事業者数は、基準年と比較して増加してきている。 ・消費者ニーズへの対応のため、多様な流通形態が形成されているものと考えられる。 |
| | | | 問題点 | ⇒ | 問題の要因分析 |
| | | | ・卸売・運輸・通信事業者数は、基準年と比較し増加傾向にあるものの、市場の年間取扱高は減少しており、生鮮食料品等の安定供給、効率的な物流に対する市場の役割が相対的に低下してきている。 | ⇒ | ・少子高齢化・人口減少による食糧消費量の減少 ・消費者ニーズの多様化 ・国産農林水産物生産量の減少 ・卸売市場経由率の低下 |

今後の方向性(平成30年度以降)

| | |
|--|------------------------------------|
| 評価を踏まえた取組の方向性 | ★…30年度着手済または着手予定 ☆…31年度以降の着手を検討 |
| ★ 場内業者・開設者が一体となり、「市場活性化ビジョン2017平成30年度行動計画」に沿って取組を実施する。 ☆1 「市場活性化ビジョン2017平成31年度行動計画」により取り組む。 | |
| ★ 場内業者・開設者が一体となり、「市場活性化ビジョン2017平成30年度行動計画」に沿って取組を実施することにより、市場の活性化を図ることで、生鮮食料品等の効率的な物流を図っていく。 | |

※経済センサスにより調査している項目のため調査年度のみ掲載